

# まごころだより

2022年 8月号

## “紙芝居”

ちょっとしたお楽しみ。紙芝居をしました。幼い頃の童話ですが、懐かしい物語です。子供だましの様ですが、内容をはっきり覚えている方がどれだけいるでしょう。絵を見て聞いていると、そうだったのかと改めて記憶とすり合わせたのかもしれない。最中は皆さん静かに聞いておられ、終わりにになると拍手でもって懐かしかったと顔をほころばせて喜んでいただきました。

## “トランプ遊び”



パズルやお絵かきは一人で遊ぶものですが、みんなで遊ぶトランプはちょっと特別です。思うようにならないことが

面白いところです。ルールは知っていたつもりですが、実際となるとどうやるのか思い出せない。2~3度すると思いついて、いつの間にか夢中になってしまいます。笑ったり奇声を上げたり、悔しがったり。感情を表に出すと普段に無い刺激になるのでしょうかみんないい顔をしています。



## “誕生会”

昼食後の誕生会は特別感があっていいものです。ささやかではあるけれど自分を祝って貰えること。しかも大勢の人に囲まれて。つい胸が熱くなります。手作りの誕生ケーキは利用者の方と一緒に作りました。全てが特別です。

## “楽しい昼食”

夏休みに入って朝から子供達がやってきます。いつもは帰られる時刻に来るのであまり触れ合う時間はありませんが、子供が遊んでくれるのが嬉しそうです。お昼御飯の内容は利用者も子供も一緒です。子供達の食べる様子をうかがいながら一緒に食べるのもいいものです。

## “お昼寝”

いつものお昼寝は一人ですが、そこへ子供が入り込んで来ると寝ている場合ではないでしょう。しかし嫌な気持ちはしないのでしょうか、むしろ嬉しいように見えます。孫？いいえひ孫くらいの年齢差がある、それも身内でも何でもない子供が布団の中に入ってきてくれることがあるのでしょうか。嬉しくないはずがありませんね。

